

野山&石尊山山行報告



【山行日】2018年 12月 22(土) 晴れ

【集 合】岩舟支所 AM 7:30

【費 用】マイカー2台 : 600円

【メンバー】CL:鈴木ユ、安西、石田、大西、岡、
梶内、島田、鈴木ヒ、田村ヤ、福島、福田夕、
藤原、渡辺ト

【コースタイム】Cコース:岩船支所 P7:30=

参道入口 P8:20/8:40=大岩毘沙門天 9:20/9:30

～野山 9:50/10:00～障子岩 10:40～剣ヶ峰

11:10/11:15～石尊山 11:30/11:40～浄因寺

12:00/12:40～大岩毘沙門天 13:20～参道入口 P13:40/13:50=岩舟支所 P14:50

B コース:大岩毘沙門天上 P8:40/9:00～野山 9:40/9:50～障子岩 10:00～剣ヶ峰 11:00～石尊山
11:25/11:40～浄因寺 12:00/12:40～大岩毘沙門天上 P13:25/13:35=参道入口 P13:40

日頃から参考に見ているHP『安蘇の山懐から』を見て、野山を知り是非登りたいと思っていた。
去年一人で下見山行に行き、冬場にとても良い里山ハイクのコースだと思い計画した。

大岩毘沙門天の参道入口から登るコースと、毘沙門天上の駐車場から登るコースの2班に分け登ることにする。

参道入口の広い駐車場に車を止め、トイレを済ませストレッチを済ませて出発する。道路を渡った男坂入口の急な石段を登り、尾根に付けられた参道を登って行く。土がえぐられ溝状の参道は、岩の上に落ち葉が積もり滑りやすい。足元を確認しながらゆっくり登り、下りは危険なので女坂を下ろうと考えながら登る。30分程登ると



女坂と合流し、その先で舗装道を横切り毘沙門天の石段を登る。大岩毘沙門天を参拝し、本堂の前を左に進むと上の駐車場に着く。小休止し衣服調整と、トイレを済ませて野山に向かう。野山への登山口は道路を渡った所にあるが、杉林伐採のため立入禁止のテープが張られていた。伐採作業は行っていないので、テープを跨いで登山道に入らせてもらう。登山道は伐採地の縁に付けられているので危険箇所は無く、問題なく登ることが出来た。尾根上に出るとトレイルがはっきりし、手製の



道標やピンクのリボンで迷うことは無い。

松混じりの自然林の尾根は眺望が良く、気持ち良く歩ける。障子岩の岩場を慎重に通過し、野山の手前の尾根でBコースの皆さんと出会えた。全員で記念写真を撮りBコースの皆さんは剣ヶ峰へ、



我々Cコースは野山に向かう。今日は野山に木札を貰う為に登るが、木札を作る方はまだ見えてなかった。リンゴをいただきながら待つが、来ないのでその先に進む。途中で勘違いだと気づき、野山に戻ると木札の方が野山に到着していた。お話しすると「木札は O 西さんにお渡ししました」との事なので、お礼を言って剣ヶ峰に向かう。障子岩を過ぎた所で TEL があり、B 班は剣ヶ峰で休憩中との事。C 班は剣ヶ峰に向かっているの、その先の石尊山で待つようお願いする。後を追いかけるように

剣ヶ峰を目指して登り、石尊山で B 班と無事合流出来た。山頂で休憩し記念写真を撮ってから、全員で浄因寺に向かう。浄因寺境内の東屋でランチタイムとし、すいとん汁を作って昼食をいただく。出汁巻き卵やトマト、ピー味噌、漬物等々が食べ切れない程並び、お腹いっぱいになって下山する。下山は『気ままな男の山歩き』の赤城さんお勧めの「巻道コース」を辿り大岩毘沙門天に着く。ここから C 班は石段を下り、その先から女坂を降りて道路に出た所で B 班の車と出会った。B 班に参道入口駐車場で待ってもらい、靴を履き替えたら2台揃って帰路につく。今回はお買い物無しで直行し、予定より早く岩舟支所に帰着した。